

専門研修プログラム名	初石病院 連携施設 精神科	専門研修プログラム
基幹施設名	医療法人社団柏水会 初石病院	
プログラム統括責任者	今井 径介	
専門研修プログラムの概要	民間精神科単科病院を基幹としたプログラムであり、将来精神科専門医として実践的な精神医療がおこなえるための一般的な素養を身につけることを目指したプログラムである。精神科救急や措置入院患者への対応を通して一般的な精神科臨床の基礎を学ぶと共に、精神保健福祉法、医療観察法など法律の知識を学習する。慢性期精神疾患の中には長期入院となった最重度の症例も含まれており、精神科医療が抱える様々な諸問題についても肌を通して体験することによって、これらの問題の解決には何が必要なのかなど、自ら学び考える態度を養うことになる。連携施設には総合病院でのリエゾン診療を通しての他科との連携やmECT、r TMSなど専門医療を経験できる。	
専門研修はどのようにおこなわれるのか	指導医の指導を受けながら外来、病棟業務などを行い臨床的なスキルの向上を行い3年目には指導医から自立して診療できるようにする。またチーム医療の必要性に関して地域医療や処遇困難患者を通じて経験する。カンファレンス、クルズス、勉強会などで知識を得るだけでなく自己研鑽する姿勢を身につける。複数の病院での医療を経験することでより物事を多面的に考えられるようにする。学ぶべき治療法や疾患の一覧、研修実績表、症例一覧表については、日本精神神経学会で発行している専攻医研修プログラム、指導医マニュアル、研修記録簿を用いて行う。	
専攻医の到達目標	修得すべき知識・技能・態度など	日本精神神経学会の発行している専攻医研修プログラムに基づき知識、技能、態度などは基幹病院で行う。基幹施設または連携施設にて児童思春期・アルコール・薬物乱用に関して研修を行える。リエゾン、mECTなど総合病院での研修を行う。
	各種カンファレンスなどによる知識・技能の習得	自らの症例を提示して、カンファレンスなどを通して病態と診断過程を理解し、治療計画作成の理論を学ぶ。日本精神神経学会学術総会に参加し、基本的な知識・技能を学ぶ。
	学問的姿勢	自己研修とその態度、精神医療の基礎となる制度、チーム医療、情報開示に耐える医療について生涯にわたって学習し、自己研鑽に努める姿勢を涵養する。そのことを通じて、科学的思考、課題解決型学習、生涯学習、研究などの技能と態度を身につけその成果を社会に向けて発信できる。
	医師に必要なコアコンピテンシー、倫理性、社会性	日本精神神経学会や関連学会の学術集会や各種研修会、セミナー等に参加して医療安全、感染管理、医療倫理、医師として身につけるべき態度などについて履修し、医師としての基本的診療能力(コアコンピテンシー)を高める。
施設群による研修プログラムと地域医療についての考え方	年次毎の研修計画	3か月に1回程度を目安に面談、振り返りを行い研修計画を調整していく。
	研修施設群と研修プログラム	単科精神科病院と総合病院精神科の専門的な医療を経験することで質の高い研修を実施できる。
	地域医療について	基幹病院が地域の中核を担う精神科病院である。地域移行支援含め地域との連携を取りながら研修を行う。

専門研修の評価	研修目標の達成度を当該研修施設の指導責任者と専攻医がそれぞれ6か月毎に評価しフィードバックする。1年に一度プログラムの進行状況並びに研修目標の達成度を指導責任者が確認し、次年度の研修計画を作成する。その際の専攻医の研修実績及び評価には研修記録簿/システムを用いる。	
修了判定	日本精神神経学会専門医制度評価システムに基づいた総括的評価により研修を修了しようとする年度末に評価を行う。研修期間中に学会発表を行うことが義務付けられている。	
専門研修管理委員会	専門研修プログラム管理委員会の業務	研修プログラムの作成や問題点の検討などを行う。各専攻医の統括的な管理や評価を行う。研修プログラム管理委員会では、専攻医および指導医によって研修実績管理システムに登録された内容に基づき専攻医および指導医に対して助言を行う。
	専攻医の就業環境	各施設の労務管理基準に準拠する。専攻医の心身の健康に配慮する。
	専門研修プログラムの改善	基幹病院の統括責任者と連携施設の指導責任者による委員会にて定期的にプログラム内容について討議し、継続的な改良を実施する。
	専攻医の採用と修了	日本専門医機構ホームページに掲載される案内を確認の上、専攻医の募集・採用を行う。日本精神神経学会専門医制度評価システムに基づいた総括的評価により研修を修了しようとする年度末に評価を行う。
	研修の休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件	精神神経学会の専門医研修委員会に申請の上承認を受け、研修の休止・中止、移動などを行う。
	研修に対するサイトビジット (訪問調査)	研修委員会に医師以外のメディカルスタッフも参加している。日本精神神経学会によるサイドビジットを受け、調査に応じる。
専門研修指導医 最大で10名までにしてください。 主な情報として医師名、所属、 役職を記述してください。	初石病院：今井径介、服部志保、紀野泉 東京医科歯科大学病院：藤野純也 東京都保健医療公社荏原病院：成島健二 東京都立墨東病院：新垣浩同和会千葉病院：横山大輔 さくらの木クリニック秋葉原：倉持穰	
Subspecialty領域との連続性	なし	